

議員と話す会（市民への報告及び意見交換の場）報告書

開 催 日 時	令和8年 7月 22日（ 水 ） 19時00分～20時30分	
開 催 場 所	産業振興センター2階人材育成講座室	
委 員 会 名	建設水道委員会	
出 席 議 員	① 委員長：橘 大介 ② 副委員長：森 遥香 ③ 松本 一孝 ④ 田中 正浩 ⑤ 濱口 高志 ⑥ 久松 倫生	
	司会進行者	森 遥香
	報 告 者	松本 一孝
	記 録 者	松本 一孝
参 加 人 数	6名	
意見・要望等 主な質疑応答	別紙のとおり。	
報告者の所感	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 濱口 高志 様

令和 8 年 7 月 24日

松阪市議会市民への報告及び意見交換の場実施要綱第8条の規定により提出します。

建設水道委員会

委員長 橘 大介

意見交換

【テーマ：松阪駅西地区整備事業について】

【開催形式】

ワークショップ形式

【意見等】

- ・土地の値段や店舗などの賃貸料が出店の妨げになっているのではないかな。
- ・地元の商店街や市民の関心が薄れているのではないかな。
- ・2019年の計画段階から課題とされていた駐輪場や駐車場の不足が、今回の計画案で十分に考慮されていないのではないかな。
- ・防災の観点から、JR側（駅前）から国道42号線への道を通りやすくなるよう整備してほしい。
- ・計画の完成予定は2031年であり、長期的な視点での議論が必要である。
- ・観光客を呼び込むためには動線計画が重要であり、松坂城など魅力のある場所があっても、街中への誘導がうまくいっていないのではないかな。
- ・観光地化において、一部に集中するのではなく、街全体をトータルで考えるべきだ。
- ・ランチやカフェ、近隣にスーパーなどがほしい。
- ・郊外の商業施設のように無料駐車場があればいい。
- ・「焼肉タウン」のようなコンセプトエリアがあればいい。
- ・駅西と駅東のつながりや、市全体の動線を考慮した駅の設計が重要ではないかな。
- ・駅西地区のグランドデザインを早期に示してほしい。
- ・民間投資を呼び込むためには、開発のターゲットが駅利用者なのか、車利用者なのかなどの経済的な合理性を明確にする必要性がある。

【課題・問題点】

- ・駅を降りた際の第一印象として、シャッターが閉まっている店舗が多く、観光客のリピーターが難しい
- ・街中の時計台が止まったままだったり、案内板が古いままであったりと観光客をガッカリさせる要因になっている。
- ・駐車場や駐輪場が不足している。

- ・地域住民の意識の高さや協力が必要
- ・卓上の空論ではなく、実際に地域の人々との対話を重視し課題を解決する必要性がある。
- ・無料駐車場がない。
- ・利用者の目的を明確に区別する必要がある
- ・現状の資料ではビジョンが見えない

【解決案】

- ・具体的なプランや将来的なビジョンが示された後に、現実的な範囲で市民の意見を取り入れる。
- ・対象地区内の企業や市民の理解や意識を高めご協力をいただく。
- ・

【主な質疑応答・意見等】

問 計画されている施設に何が入るのか未定であり、公共施設とどう連携し、また人の流れの動線がどうなるのか。

答 今後、企業や市民からの提案を考慮に入れ具体的な計画を行っていく。

問 駅西事業と街全体の関わり方は。

答 中心市街地全体の空洞化を防ぎ回遊性を生み出すための重要な位置づけとなっている

報告者所感

今回、色々のご意見をいただいた駅西整備事業は、本市の未来に向けての重要プロジェクトであり、長年市民の皆様から駅前に活気が欲しいとの要望が続いていた案件である。官民連携による事業は、行政コストを抑えつつ魅力的な施設や利便性を創出できる新たなランドマークとして、次世代に誇れる賑わいの拠点になることを期待できる一方、これまでのコロナ禍による停滞や計画の変更などで、具体的なビジョンが決まっていない状況であることから、市民への丁寧な説明が不足しているのと、街全体の動線や近隣への影響などの声が多いことから具体的な事業内容が示されれば、いただいたご意見や課題などを考慮し議会としても深い議論が必要であると考えます。

議員と話す会の様子

